

第14回全国建設青年会議 全国大会・開催趣旨

建設業を取り巻く環境は、来年度予算の動向を見ても公共投資の大幅な削減、景気回復の遅れによる民間建設市場の激減、地域間格差の拡大、利益率の低下など、かつて経験したことのない厳しい経営環境に直面しています。

地域の安全・安心を守ってきた地域建設業の相次ぐ倒産・特に老舗といわれる地元優良企業が経営破綻に追い込まれる現状であります。

特に、金融危機の影響により金融機関の融資の厳格化により今後も倒産増加が懸念されるところであります。

今こそ内需拡大のための公共事業が不可欠であり、地域間格差を是正するため地方への重点配分を一日も早く望むところであります。

このため、全国建設青年会議が一齐に脆弱な国土である我が国の社会資本整備の必要性についての理解促進活動を行う必要があります。

また、品確法施行から4年が経過しておりますが、単なる一般競争の導入で未だに価格のみが優先され真面目に努力している企業が報われない状況にあります。地域に精通した地域の基幹産業として地域経済を支え、信頼と意欲のある企業が総合的に評価される総合評価方式の完全実施を期待するところであります。

このため、現下の公共投資の削減・低価格競争・労務単価激減の負のスパイラルを抜本的に克服するための制度改革が必要であります。

第14回全国大会においては、社会資本整備の必要性の理解促進活動と負のスパイラルを抜本的に克服するための公共調達についての勉強会を重ね、よりよい入札契約制度を模索しながら、良質な社会資本整備の担い手として「インフラ・ストラクチャー」の重要性を広く地域住民の方々に発信して参ります。

第14回全国建設青年会議 全国大会 幹事
東北建設業青年会
会長 冨田名重
実行委員長 大沼武彦